

公共図書館システム「ELCIELO」の最新版を提供開始 ～ユニバーサルデザインに配慮し、WebOPAC のデザインを全面リニューアル～

京セラコミュニケーションシステム株式会社（本社：京都市伏見区 代表取締役社長 黒瀬 善仁、以下 KCCS）は、公共図書館システムの最新版「ELCIELO Ver.3.0」を、2016年12月15日より提供開始します。

「ELCIELO」は、2002年に公共図書館向け Web アプリケーションシステムとして誕生以来、利用者にとって快適で使いやすいシステムの構築を開発コンセプトとし、機能強化に取り組んでいます。

昨今、公共図書館は、地域住民への書籍・資料の貸し出しだけでなく、まちづくりや地域課題解決のための交流の場としての機能や、行政・法務・医療などの情報を提供する役割も求められてきています。

今回のバージョンアップでは、「みんなのそばに図書館を」という製品コンセプトのもと、誰でも利用しやすい「ユニバーサルデザイン」をユーザインターフェイスに採用。これにより、音声読み上げソフトへの対応や、見やすさを考慮した配色、UD フォント*1への対応など、アクセシビリティを強化し、さまざまな利用者の方々に安心してお使いいただけるシステムになりました。また、地域住民の「学び」、「地域・暮らし」、「人」の輪を広げるための各種機能も拡充しました。

■「ELCIELO Ver.3.0」の主な特長

(1) アクセシビリティ対応

図書館の顔とも呼べる WebOPAC をユニバーサルデザインに対応させることでアクセシビリティを強化しました。これにより、直観的な操作が可能となり、興味ある書籍が探しやすくなりました。具体的には、WebOPAC の画面を総務省発刊の「みんなの公共サイト運用ガイドライン 2016年版」に準拠した画面レイアウトにすることで、Web アクセシビリティを確保し、見やすさと使いやすさの両面を向上させました。

また、「カラーユニバーサルデザイン検証合格証*2」および「ウェブアクセシビリティ規格（JIS X 8341-3:2016）適合証明書*3」を取得しました。



トップ画面イメージ

(2) 機能強化

製品コンセプト「みんなのそばに図書館を」を可能にするため、3つの切り口「学びの輪」、「地域・暮らしの輪」、「人の輪」でシステムの機能強化を行いました。

① 学びの輪

・読書ヒストリー

同意した利用者に対して自身の読書履歴を保存する機能です。利用者自身で年間の読書目標を設定でき、目標に対する進捗状況を確認できます。

「読書ヒストリー」画面イメージ

・学校図書館連携

公共図書館と学校図書館のシステムの一元管理ができる連携オプションを準備しています。公共図書館の蔵書を活用した、学校図書館サービスを提供し、子どもの読書活動推進を支援します。

② 地域・暮らしの輪

・どこでもカウンター

専用端末が置けない小規模な図書館や移動図書館でも、タブレットを利用してカウンター業務を行うことができます。分館のない地域でも、図書館と同じ利用者サービスを提供することができ、利用機会増加を促進します。

「どこでもカウンター」画面イメージ

・デジタルデータ連携

郷土資料の保存・活用や、情報技術活用のため、電子図書館 TRC-DL との連携オプションやデジタルデータアーカイブ連携オプションを準備しています。図書館所蔵の資料と電子資料を同時に検索することができ、利用しやすいデジタルデータ活用環境を提供します。



「デジタルデータ連携」画面イメージ

③人の輪

・API 公開

ログイン情報、各図書館の開館情報、図書館カレンダーといった図書館システムで管理している情報を展開することで、自治体の Web サイトなどにも画面表示させることが可能です。

< 動作環境 >

| | | |
|---------|---------|---|
| サーバ | OS | Windows Server® 2008 R2 / 2012 R2, Red Hat Enterprise Linux6 |
| | RAM | 1GB 以上 |
| | Web サーバ | Apache / IIS |
| | DBMS | InterSystems Caché® |
| 業務端末 | OS | Windows Vista®, Windows® 7 / 8.1 / 10 |
| | ブラウザ | Internet Explorer® 9 以上 |
| OPAC 端末 | OS | Windows Vista®, Windows® 7 / 8.1 / 10 |
| | ブラウザ | Internet Explorer® 9 以上, FireFox, Google Chrome, Safari, Microsoft Edge |



- *1 ユニバーサルデザインフォントの略で、さまざまな人が利用できるように年齢や障がいに配慮してデザインされたフォント。
- *2 NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構（CUDO）による第三者認証。人間の色覚の多様性に配慮し、より多くの人に利用しやすい配色を行っていることが認められた製品に対して発行される。
- *3 国際標準規格の ISO/IEC 40500 を基にした日本工業規格（JIS）。高齢者や障がいのある人を含むさまざまな利用者が、使用端末、Web ブラウザ、支援技術などに関係なく、Web コンテンツを利用できることを目的に定められている。

* 製品名および会社名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

* 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。